

17 公益社団法人 日本駆け込み寺

□公開日時:平成 24 年 11 月 5 日(月)

□相談年度:平成 23 年度

■ 息子の暴力に苦しむ61歳の母親！ ■ ～酒を飲んで暴れる実の息子～

25歳の長男。小さい頃は、素直な「いい子」だった。父親は模範的なエリート公務員、母親は良妻賢母の専業主婦、いわゆる「普通」の平凡な中流家庭で、特に不自由もなく育った。息子も、親の期待に答えていた。

- 仮名：田所さん
- 年齢：61歳
- 性別：女性
- 問題：家庭内暴力

【きっかけは大学受験の失敗だった】

ずっと親の期待に答えていた息子だったが、大学受験に失敗した。抑えて受けた大学は受かったものの、本人の希望もあり、1年間、浪人した。次の年、再度受験に臨んだが、また失敗してしまう。

「オレはもう終わりだ」。息子は自暴自棄になった。自室で酒を飲むようになった。見るに見かねた父親は、そんな息子に声を荒げた。「来年のために勉強するか、大学をあきらめて仕事するかしたらどうだ」。母親も叱った。「そんなにお酒飲むと身体壊すわよ」「うるせんだよ」息子の自暴自棄な態度は直らなかった。母親は、息子のために近所の酒屋でお酒を買ってきて、食事の用意もする。

【酔っぱらっての暴力】

ある日、息子は、酔って両親の前に立った。「オレがこんなになったのもお前らのせいだ！」息子は、言い合いになった父親に、ふらつく身体で向かって行った。父親を蹴ると、リビングにある椅子や食器を投げた。父親は、額を切る怪我を負った。それから、息子は酒を飲めば暴れるようになった。酒の量も増えていった。酔って赤い顔をして、親に手を挙げ、モノに当たり散らす。親も家も傷だらけになっていった。

「お兄ちゃん、また暴れてるの？」妹もおびえた。今のままでは、息子とはいえ何をされるかわからない。もしかしたら殺されるかもしれない。息子におびえる生活は、もういやだ。「何かに取り憑かれているのかもしれない」両親は、ワラにもすがる思いで、占い師や霊能者、神社仏閣を訪れて相談もしてみた。しかし、何も解決しなかった。

「この先どうなるのかしら。私も、もう疲れたわ」母親は、テレビで日本駆け込み寺を知った。そして父親を説得して、相談することを決めた。

【ライフラインを断て】

いい年して、自立できないばかりか家族に暴力をふるって迷惑をかける。弱いものをいじめて、暴力で支配して、いい気分になる。家の中にヤクザがいるようなものだ。こんな息子に遠慮は要らない。家族全員で、必要最小限のものだけもって家出してしまえばいい。経済力は父親が握っていて、生活力は母親が握っている。まだ、親の庇護が必要な妹も、もちろん一緒だ。どうせ暴君として振舞えるのも家庭の中だけで、こんな息子は外に出たら何もできない。

家庭というものは、家という箱があるから成立するというものではない。家という箱の中に家族という人間がいて、その家族同士の心の繋がりがあって始めて家庭が成立するのだ。25歳という年齢で、一方的に家族からの恩恵だけを受けて、その大切な家族に殴る蹴るの暴行を加えるような人間を、家族として認める必要はまるでない。血がつながっているからといって、しょせんは他人同士。一方的にマイナス要因だけしかない人間を、つなぎとめておく必要はないのだ。合理的に割り切って、こんな息子は自分から変わろうとしない限り見捨ててしまうのが一番。いつまでも子どもは、親の所有物ではないのだ。

夫婦もしょせんは他人同士。意見が合わないことも、性格が合わないこともあるだろう。しかし、自分たちの子どもを、夫婦の接着剤にしてはダメや。夫婦の問題は、夫婦の問題。子どもは別のものなのだ。



堀田力先生(左)との共著の表紙。11月16日発売予定です。

【ここが POINT】

家族は、血族。それ以上でも、それ以下でもない。確かに家族は大切だろう。しかし、それに縛られてはいけない。家族は、子どもが社会に出て立派にやっつけていけるだけの自立心を育ててあげなければならない。二十歳を過ぎた子どもを、いつまでも家族の中に縛っておいてはダメだ。子どもも、親も、それぞれ一個の生や。自分の人生なんだから、それぞれが責任を持って背負えばいい。家族は、お互いが独立しながらも、平等であるべきなのだ。もちろん悩んでいる子どもに、アドバイスはする。しかし、お金を恵んだり、子どもに頼ったり、親のエゴで過剰な期待をかけたりはしない。家族は依存するものではない。家族＝共依存となっている家庭のなんと多いことか。

問題を抱えている家族の家族愛は、家族愛というよりペット愛に近い。子どもは愛玩動物ではないのだ。子どもには子どもの人格があり人生がある。それを親は素直に認めなければならない。

家族なんて、血縁を確かめる意味でも、たまに、盆と正月にでも集まれば、それでいいと思う。